

科目名	基礎演習Ⅳ					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4102

●授業のテーマ

「正信偈」を読む（2）

●到達目標

「正信偈」に関する基礎的知識を習得する。また、「演習」形式（事前学習・レジュメ作成・発表・討論など）の授業に慣れるようになる。

●学習内容(授業概要)

「正信偈」は詳しくは「正信念仏偈」と言い、浄土真宗の宗祖・親鸞（1173-1262）が浄土真宗の教えを偈文形式で端的に述べたものである。「正信偈」の講読を通して、親鸞によって明らかにされた浄土真宗の伝統と教えの綱格を学ぶ。

本講は受講生の発表と討論を主軸とした「演習（ゼミ）」形式で進めていく。受講生には、担当箇所の事前学習、レジュメ（発表資料）の作成、当日の発表、受講生全体での討論（意見交換）が求められる。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. 演習のガイダンス（前期の復習・演習の進め方の確認）
2. 受講生の発表①「釈迦如来楞伽山～」
3. 受講生の発表②「顕示難行陸路苦～」
4. 受講生の発表③「天親菩薩造論説～」
5. 受講生の発表④「帰入功德大宝海～」
6. 受講生の発表⑤「本師曇鸞梁天子～」
7. 受講生の発表⑥「天親菩薩論註解～」
8. 受講生の発表⑦「惑染凡夫信心発～」
9. 受講生の発表⑧「道綽決聖道難証～」
10. 受講生の発表⑨「三不三信論懇懃～」
11. 受講生の発表⑩「善導独明仏正意～」
12. 受講生の発表⑪「源信広開一代教～」
13. 受講生の発表⑫「本師源空明仏教～」
14. 受講生の発表⑬「弘経大土宗師等～」
15. 総括（まとめ・小テスト）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…テキスト『正信偈』を講読して、不明な点があれば事前に調べてくること。特に発表者は、担当箇所を精読して、下調べを行い、レジュメ（発表資料）を必ず作成してくること。

「事後学習」…授業で学んだ内容をよく復習すること。

●成績評価方法・基準

平常点（出席・発表・発言・受講態度など）70%、期末試験（小テストまたは小レポート）30%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『正信偈』、著者名：教学研究所、出版社：東本願寺出版部

≪No.2.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

2回生時の必修科目なので、休まず出席すること。テキストは必ず購入・持参の上、授業に積極的に参加すること。テキスト不携の場合は欠席扱いとする。

前期開講科目「基礎演習Ⅲ」とセットで受講すること。